

凌辱王のダンジョン



ワヌカ・テノイの
古代遺跡…

ガヌシヤ王の
墳墓…か

いいね…
雰囲気
あるじゃん





装備の
修繕費も…

馬鹿に
ならんのだ



確かに…

かすかだが
邪悪な気配を
感じる…

魔物なら強え
のを頼むぜ

こないだみた
雑魚ばかりじゃ
腕が鈍っちゃう



君はこの間も
女を買って

散財して
いたろう？

バーニイはとかく
金にうるさい



聞いたところには
名門貴族の嫡男だったが

この服も
売らねば…

両親の散財で家が
没落したらしい…
かなり苦労したようだ

カネ…

カネがない



ロイド…
この探索の狙いは
ガヌシャの財宝…

それを
忘れるな

わかって
るって…

戦闘は極力
避けるぞ

えゝ
つまんねゝ



…何でだ？

ん？



だから金の小言は仕方あるまい

ただそれ以上に…



何ボーっとしてる？

お?!



ブツッ

ブツッ

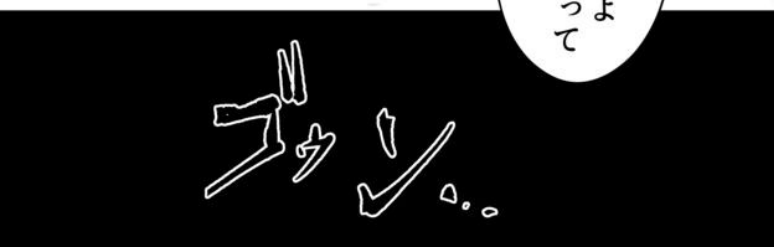
ブツッ

下層に降りるぞ

しっかりしてくれよ

くれぐれも無理な戦いは…

わーってるよ心配すんなって



ブツッ



女を抱いた後は…

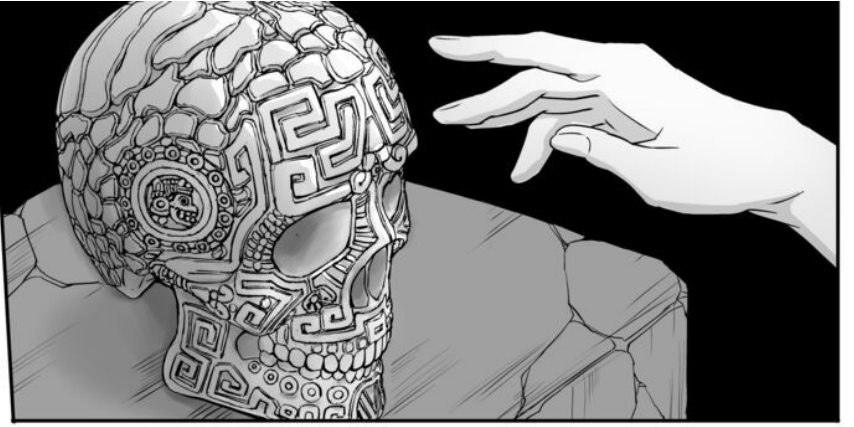
まったく…

酒だの女だの

さらに不機嫌な気がする

君は困った奴だな…





バーニーがあればに
手を触れた瞬間…

目の前が
真っ暗になって…



ん？

…バーニー？



あ？





てっ!



楽しませて
もらってあるぞ

ひと足先に

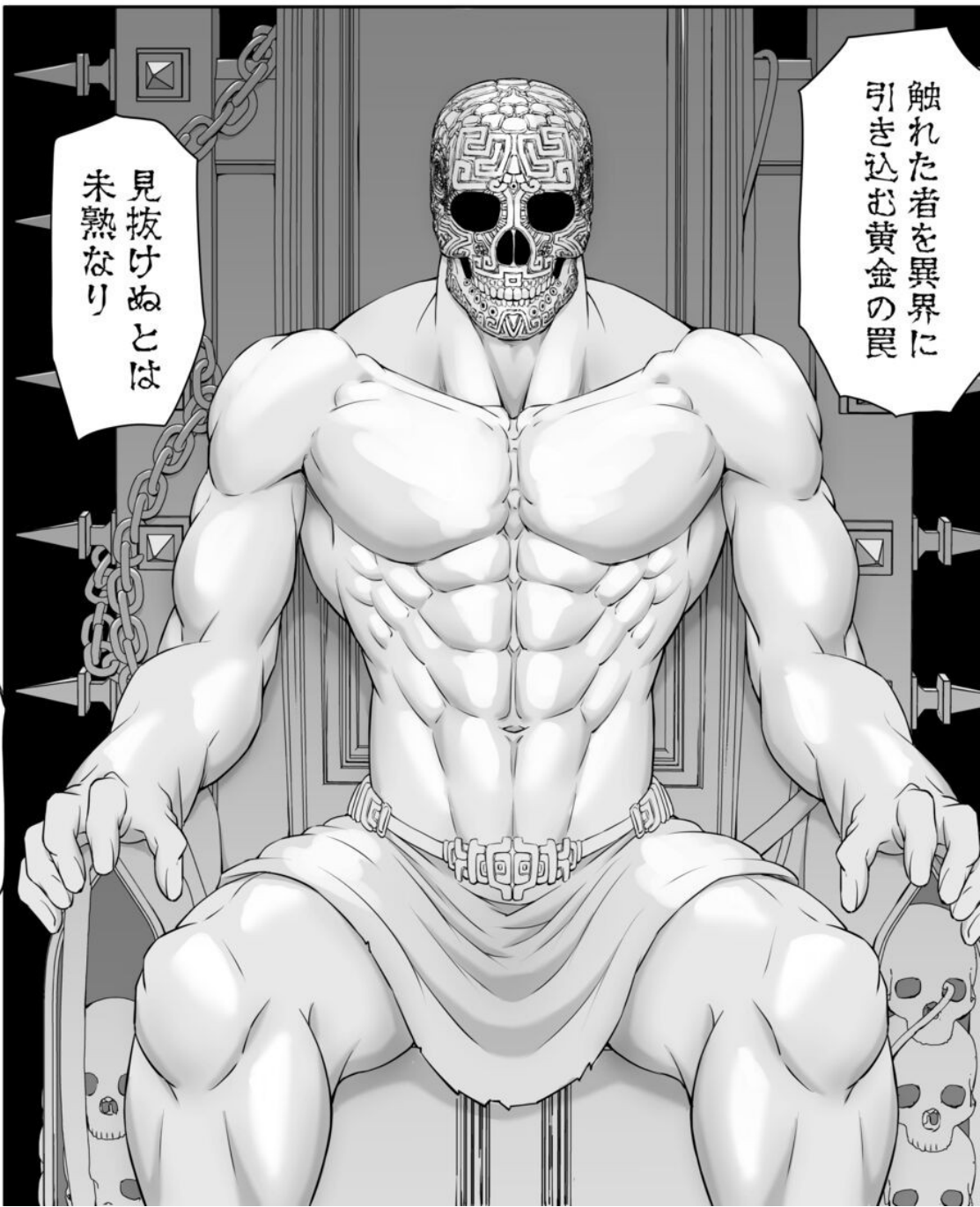
多

パチ



このガヌシヤ
が貴様らを

永遠の慰み者と
してくれよう



見抜けぬとは
未熟なり

触れた者を異界に
引き込む黄金の罫







肉の芯まで
燃えるように！

クフフフ
熱かろう

穴の
中身も

さぞ火照って
おろうな

アメイロオ

アグハイ
グキ
クキ
クキ

クキ

ビク
ビク

ビク
ビク

ビク
ビク

クキ

グ
グ

グ
グ

クキ



ああ良い声で泣きおる…

身をよじり悶えるその姿…堪らぬ



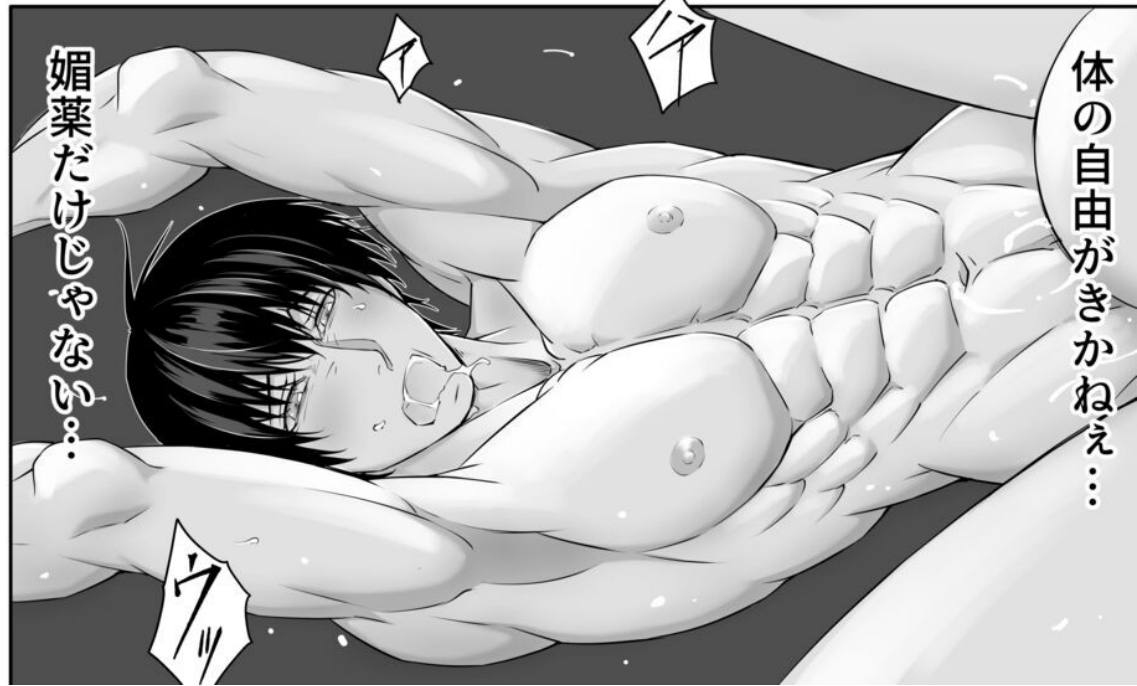
さあ…その長く太い舌で…

奥まで存分にかき回してやれ



野郎の目

催眠術か



媚薬だけじゃない…

体の自由がきかねえ…





徹底的に

二人仲良く
並べて…



犯して
やれ



どこぞで野垂れ死ぬのが
落ちだ…

や…
めろ



冒険者なんて稼業は…
遅かれ早かれ
つええ魔物とはちあって

そやつらは
レヴェナント

アア

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

愚かな侵入者どもが
我が呪詛にて
変じたなれの果て



食欲と性欲の
ままただ貪り、

永遠に異界を彷徨う
知性なき亡者！

貴様らも
その列に
加えてやろう











呪詛は情欲を
餌に増殖し：



貴様を
レヴェナントに
変えていくのだ



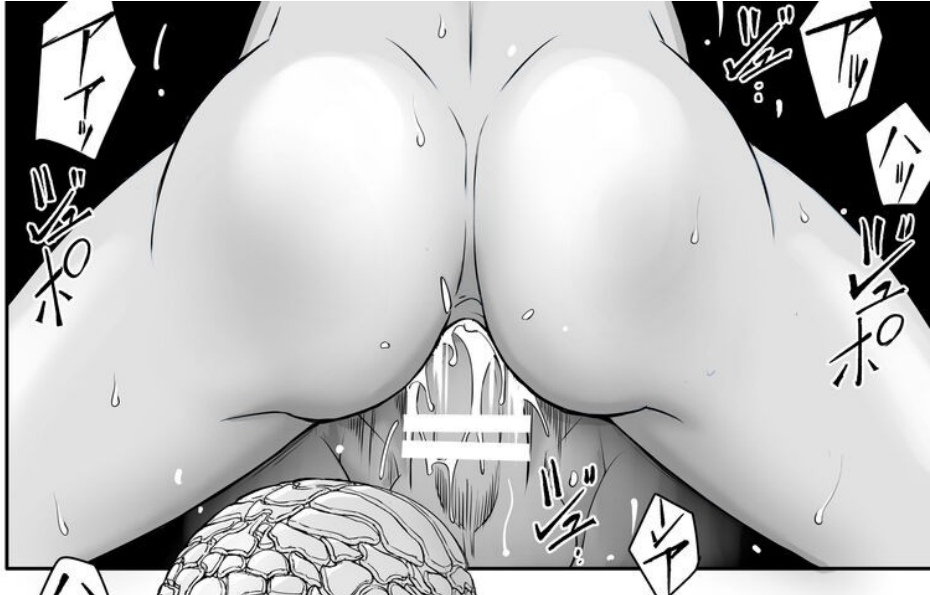
呪詛を込めし
我が子種：

たっぷり
注いでやる



王よ...

あなたに：
頼みがある



あなたの財宝を
狙ったのは私だ...



ロイドは...

彼は：
私が無理矢理
つき合わせた
だけなんだ





貴様



あの男を
愛しておるな？



なに…
隠すことは
あるまい

クフフ…



この身は好きに
してもらって
かまわない…

だから
ロイドは…

あいつは見逃して
やってくれ！



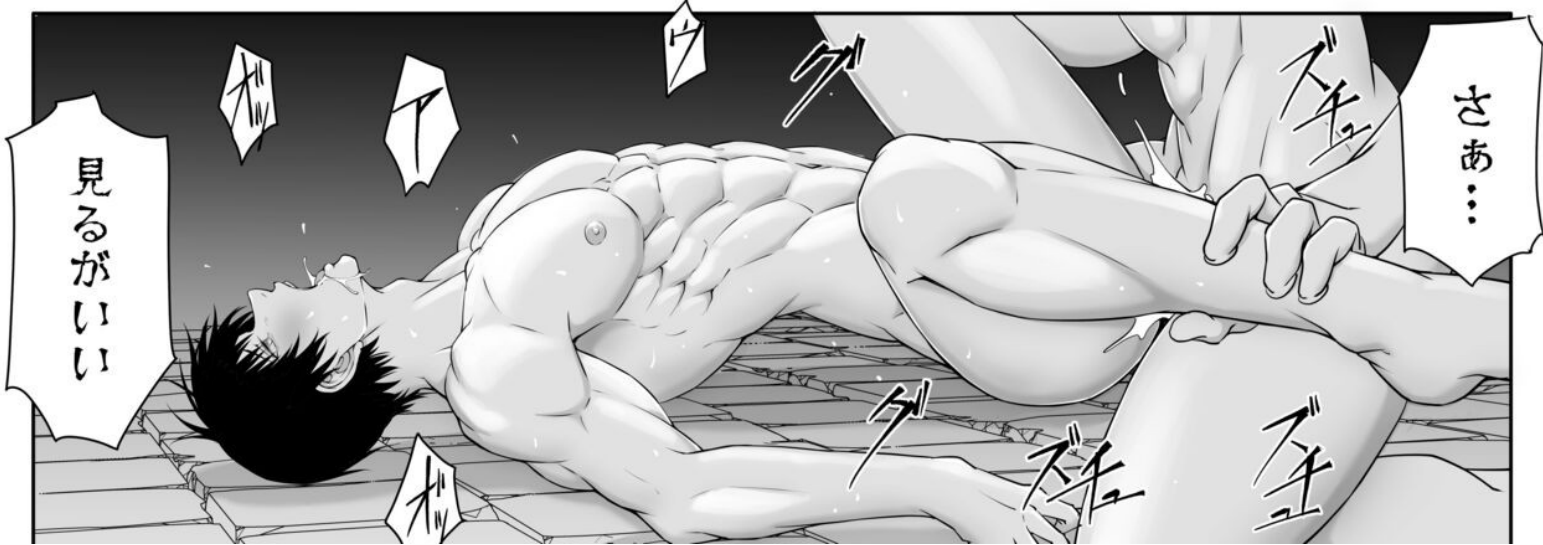
ほう…
我が催眠下に
あつて尚、

あの男を
庇うとは…



互いに背を預け、
死線をくぐり
抜けた男同士が

そのような
感情を抱くのは
よくあること



さあ…

見るがいい



どうだね？



ロイド！

ロイド！



愛しい相棒が
犯されるのを見ながら

激しく突かれる
心地は…

たぎ
滾る
だらう？





秘めたる情欲で
結ばれし戦士か…

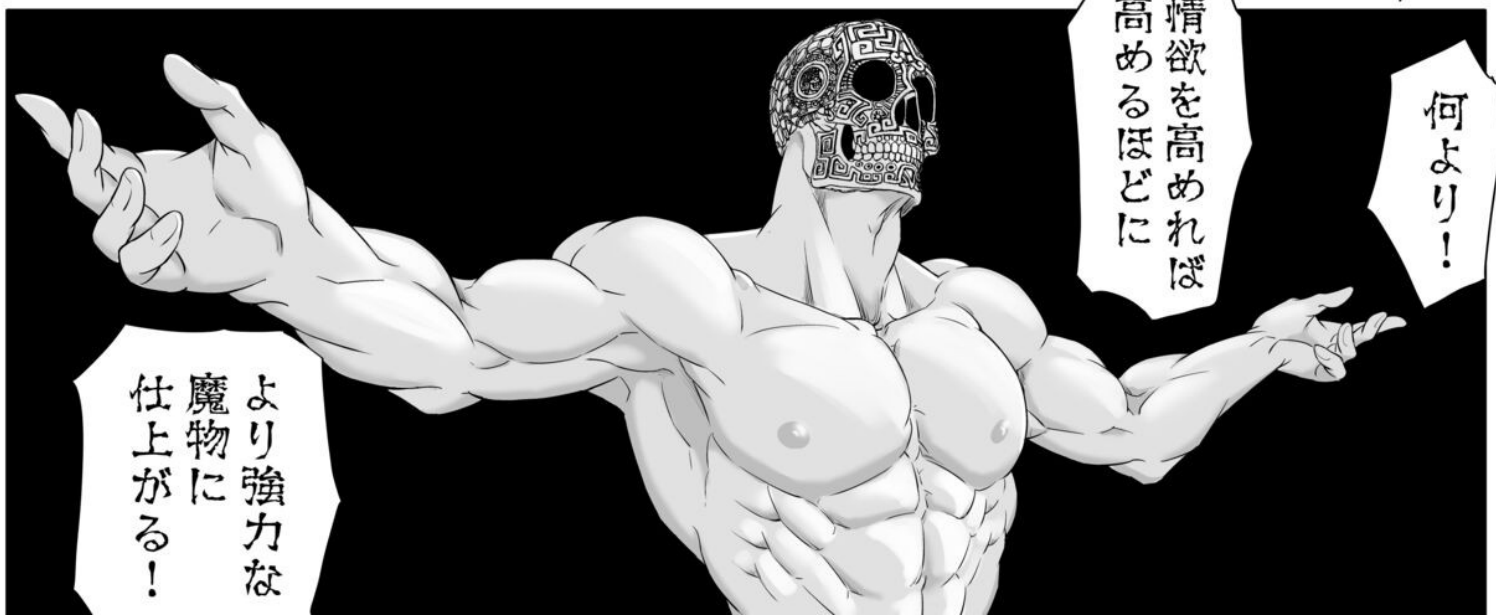
素晴らしい

この渴いた心に
染み渡るわ



まだ潰すのは
勿体ない！

もっと堪能
せねば！



何より！

情欲を高めれば
高めるほどに

より強力な
魔物に
仕上がる！



さあ今度は…

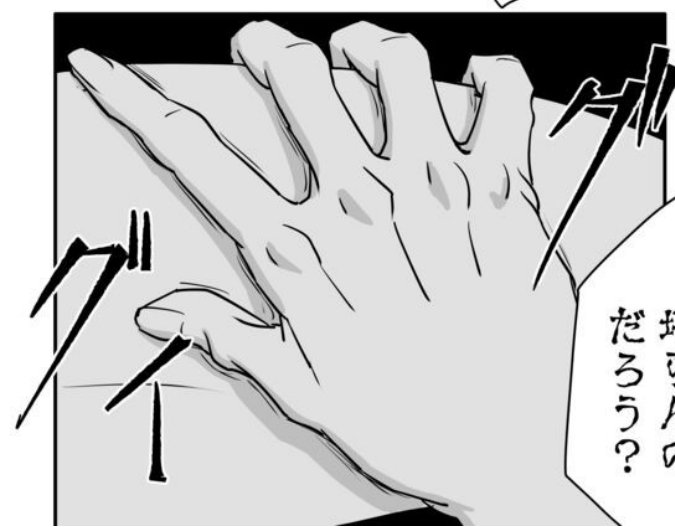
貴様ら二人で
睡眠あえ



さっさと
やるのだ



どうした？

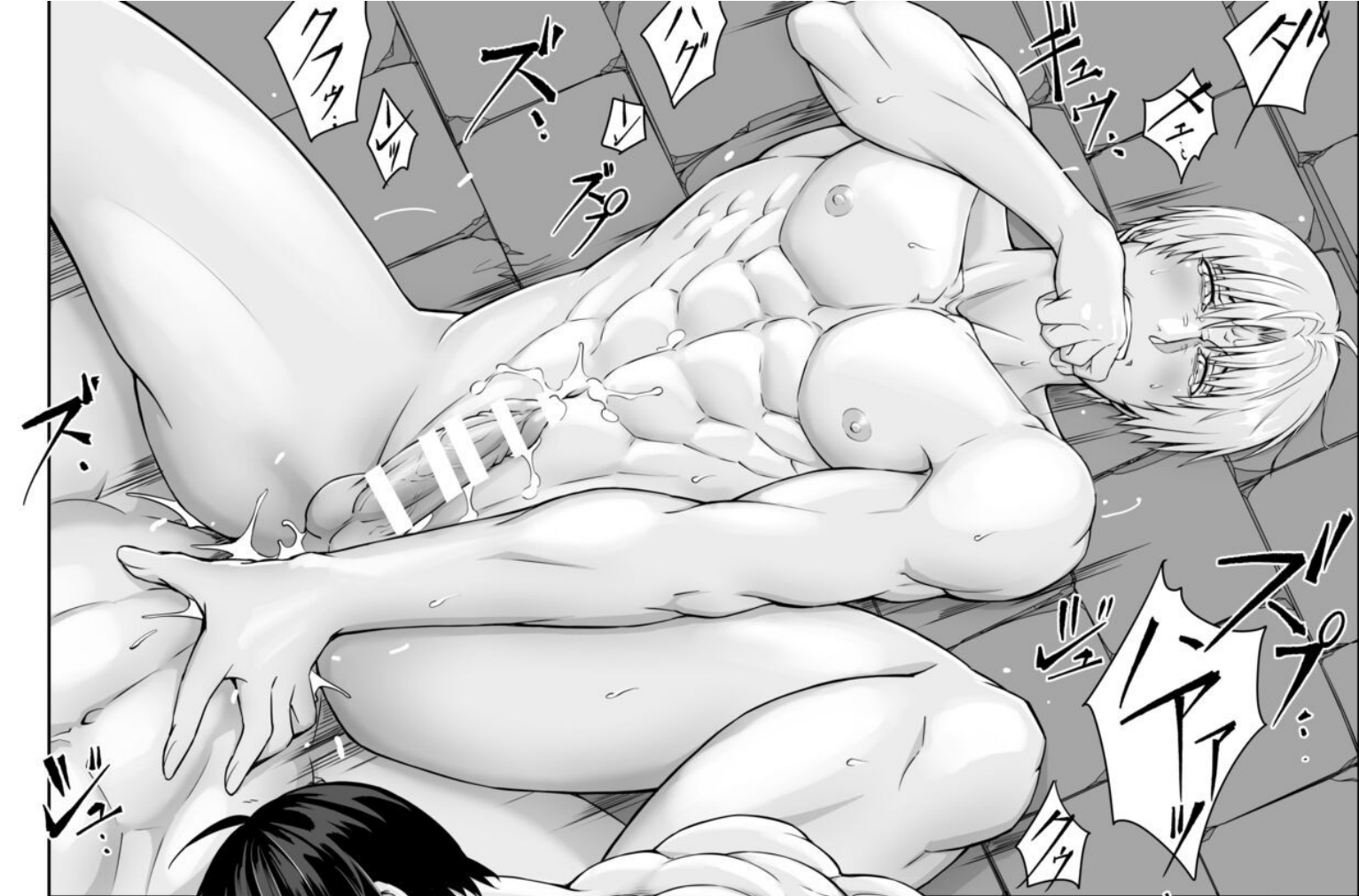


欲しくて
堪らんのだらう？



特に金髪の…







そのまま聞け
バーニィ…



今奴は油断
している…
ここから
逃げるぞ



見ろ、あの魔物ども

ギョッ

ギョッ

遠巻きにこつちを見てるだけだ



合図と同時に走るんだ…



俺が先導するから…



ここから出たところで…

外の世界で待つものは苦しみだけ…

な…何言って…



いいや…ロイド

私は…このままがいい

ギョッ

お前に
抱かれながら…

ここで
朽ち果てるのも
悪くない…

無駄ぞ…
この男の心は
もう我が手の内

だが貴様は…
どうも我が術の
効きが悪いな

しからばより
強力な術で

堕ちて
もらおうか



孕ませて
やろう

呪詛を込めし
我が子種：

貴様にも
たっぷり
注いで：





突き
ながら

どうだお??

突かれる
心地は

至上の
快楽の中で

我が手に
落ちよ

オハッ

オハッ

ハハッ

オハッ

オハッ

ハハッ

ハッ

クハッ

スッ

グッ

スッ

ハハッ

ハッ

ハッ





終わられるかよおお！

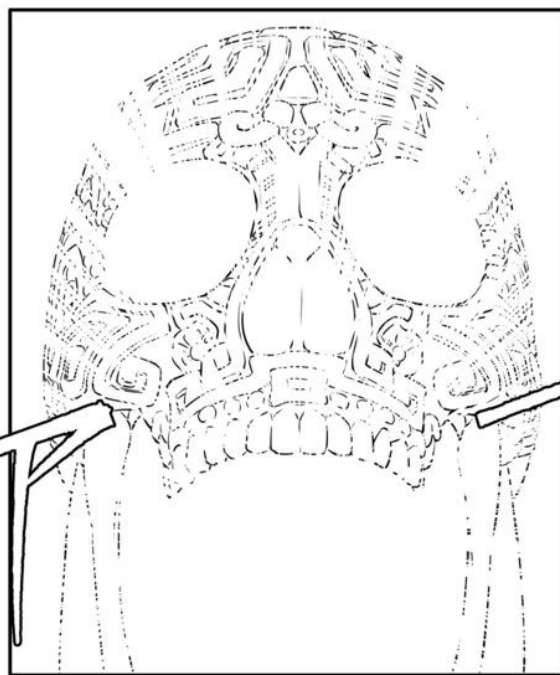
こんなとこで...

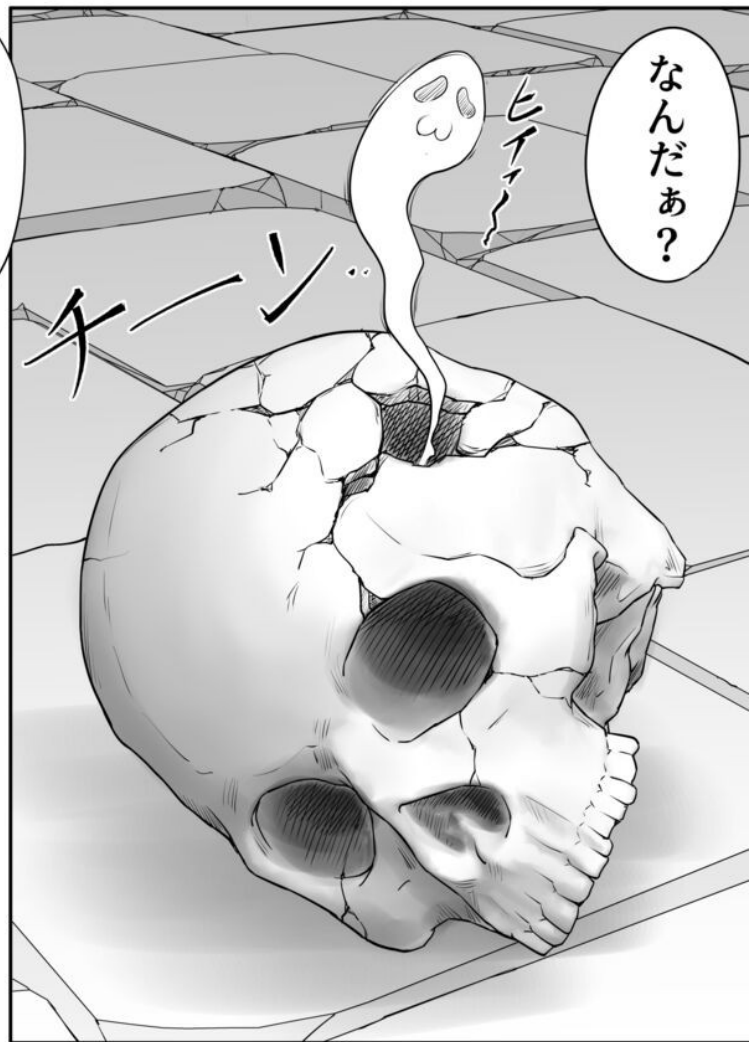


あ...あ...あ...











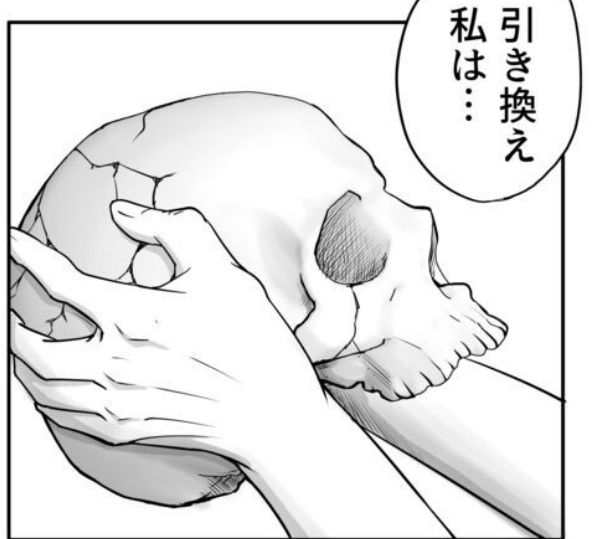
欲に目が眩んで
君を危険に
晒してしまった

…君を…
穢してしまった



それに君は、
黄金への執着が
無いから

王の呪縛を
破れたの
かもな



引き換え
私は…



落ち込ん
でるとこ

悪いけど
よお…



あー…



…ごめん

本当に
…ごめん



続き...

やっっちゃう?!



馬鹿か
君は

ハッ

...そんなの

チエ



...帰って...
からでも...

ハッ



...だってよお

中途半端で
終わっちゃまった
じゃん?

...おい!

ロイ...ド

ハッ

ハッ

ハア…
本当に君は…

困った
奴だな…

END